

リハビリテーション機器

BWSTTとトレッドミル



脊髄損傷、脳卒中片麻痺、運動器疾患など様々な疾患により、平地歩行が困難な患者（様）に対して、ハーネスで身体を上方に牽引し、体重を部分免荷しながらトレッドミル上を歩行するトレーニングです。特徴として、①従来なら歩行トレーニングが行えなかった患者様(重度の麻痺、筋力低下、骨折等による荷重制限)でもより早期から歩行練習が可能です。ハーネスを使用するため、転倒の危険性が低く、個々の患者（様）の能力に合わせて免荷量・歩行速度などを容易に調節で出来ます。②左右下肢の交互のステップングに伴って喚起される刺激を残存する中枢神経に与え、セントラルパターンジェネレータ（CPG）と呼ばれる脊髄神経回路や、脊髄より上位の中枢神経を賦活させる事が期待出来ます。③ハーネスで身体を上方に牽引するため、下肢や体幹の筋活動を低下させ、身体的な負担を減らしながらトレーニングが行えます。効果として、下肢・体幹の筋力向上や、歩行能力（歩行速度、歩幅）の改善が期待出来ます。歩行様の運動が出来る事によるトレーニング意欲の向上も望めます。

レッドコード



レッドコードを利用したリハビリはスリングセラピーとも呼ばれ、除重力運動や抵抗運動など運動強度が調整でき、リラクゼーション、筋力強化、姿勢改善、除痛など、個々の状態に応じたトレーニングが可能となる機器です。種々の運動方法により固有受容感覚器に刺激を与え、鈍った感覚の働きを促進させることで、筋収縮機能を高められます。また、運動強度の調整が自在なので、余計な負荷をかけず、安心・安全にトレーニングが出来ます。アスリートから高齢者まで、幅広い方に適応されています。

<p>HURマシーン</p>		<p>筋力強化を目的として使用し、複数あるマシーンの中から強化したい筋に合うマシーンを選びトレーニングを行います。マシンの乗り降りの方や使用方法を指導した後であれば、自主トレーニングとしても利用出来ます。空気圧で1 kgから負荷が設定でき、関節の負担を最小限に抑えて筋力強化が出来ます。運動療法実施のための基準に問題のある患者（様）の場合は必ず医師に相談してから始めます。</p>
<p>天井走行リフト</p>	 	<p>新棟リハ室建設にあたり、新しく天井走行式リフトを導入しました。リフトを使用することで寝たきりの方、座位保持、立位が困難な方も安全、安楽に移乗することができるため、チルトテーブルという医療機器を使用して立位の練習を行うなど積極的にリハビリを進めることができます。またこのリフトの特徴として本体、レールを固定する機能があり、軌道を固定することで安全に移乗することができたり、専用の吊り具（スリング）を使用することで安定した姿勢を保持しながら立位・歩行練習等を行うこともできます。またスリングの種類も様々あり、目的によって使い分けることで治療の幅が広がるのが期待できます。</p>
<p>パワープレート</p>		<p>機器が作り出す特殊な周波数の振動を用いながら、トレーニングをする事で筋のリラクゼーションから強化まで短時間で効率的に行える振動機器です。脳卒中後遺症患者（様）の筋、神経への効果もあるとされています。期待出来る効果として、より多くの筋活動および高速な筋収縮、筋力およびパワーの向上、姿勢の改善と転倒リスクの軽減、血行を改善する、柔軟性および可動域の向上があります。</p>

<p>バランス トレーナー</p>		<p>下肢や体幹に機能低下がある患者（様）に対し、立位トレーニングやバランストレーニングを行う機器です。体格や身体能力などに応じ、腰・膝・足部のパッドとベルトの位置を調整する事で、安全に長時間の立位保持が出来ます。立ち上がりが困難な場合には、電動リフトシステムとスリングベルトを使用する事で、立ち上がりを介助して立位保持が出来ます。また、テーブルの固定を解除すると最大12°まで前後左右に自在に傾けられ、動きのある立位保持を体験出来るため、重心移動やバランス保持の練習が行えます。</p>
<p>心リハモニ ター</p>		
<p>REO-GO J</p>		<p>脳卒中や脊髄損傷の後遺症で腕や手に麻痺が残り、生活上で手の使いにくさを抱えている患者（様）に対し、通常のリハビリテーションにReo-Goを使用した訓練を組み合わせることで、麻痺側上肢の関節癒着、拘縮予防および関節可動域の拡大を図り、患者（様）のQOL向上を目指します。</p> <p>Reo-Goの特徴としては、椅子に座って、ロボットアームに麻痺した腕や手を固定して行います。そして前方モニターに表示された目標物を見ながら二～三次元の様々な上肢運動を行うことで麻痺の改善を目指します。</p>

<p>パスリーダー</p>		<p>磁気刺激を用いて末梢神経を刺激して筋の収縮を促す医療機器です。筋を収縮させる事は筋力強化や麻痺の改善のために重要な事です。</p> <p>服の上からも磁気刺激が可能でかぶれなど、皮膚の弱い方へも安心して使用可能です。また、電気刺激と比べると不快感が少ないことが特徴です。使用上に一定の条件がありますので、医師の指示の元で使用します。</p>
<p>通電機器 (IVES+・WILLMO)</p>		<p>IVES+とは、脳卒中等による運動障害の改善を目的とした低周波治療器です。脳からの運動指令によって生じる筋の活動を電気信号として読み取り、弱まった運動指令を補うように麻痺や筋力低下のある上肢・手指・下肢に電気刺激を与えます。患者（様）の状態に応じてモード選択を行い、リハビリ時間のみではなく日常生活の中で自身の筋の力で治療をサポート出来ます。</p> <p>WILLMOとは、装着式随意運動介助 電気刺激装置です。神経促痛刺激とバイオフィードバックを行え、脳卒中片麻痺上肢の機能回復を促す医療機器です。筋電検出と電気刺激を同時に同じ電極から入出力する事で、より正確な上肢・手指の運動学習が行え、動作獲得につながります。</p>